

# 耐震二次診断結果

## 市立小・中学校の耐震診断結果を公表します

問い合わせ先 ▶▶▶ 教育総務課 (☎ 82-1200)

平成 21 年度に実施した市立学校施設 18 棟の耐震二次診断の結果がまとまりましたので、公表します。今後は、この結果をもとに市立学校施設の耐震化を進めます。なお、耐震補強計画につきましては、準備が整い次第、各学校に伺い、保護者のみなさんに説明を行う予定です。

### ● 耐震二次診断の結果

	学校名	棟名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年	Is 値
小学校	高千帆小学校	普通教室棟 (給食棟の西側)	RC	2	456	S 51	0.99
		普通教室棟 (南側の校舎)	RC	2	836	S 55	0.97
		体育館	S	1	614	S 47	0.14
	小野田小学校	体育館	S	1	738	S 56	0.12
	須恵小学校	普通教室棟 (給食棟の東側)	RC	2	618	S 56	0.61
	本山小学校	体育館	S	1	643	S 54	0.10
	厚狭小学校	体育館	S	1	963	S 46	0.20
	厚陽小学校	普通特別教室棟 (北側校舎の東側部分)	RC	2	717	S 56	1.10
		普通特別教室棟 (北側校舎の西側部分)	RC	2	809	S 56	1.03
		体育館	S	1	638	S 50	0.21
	出合小学校	体育館	S	1	639	S 53	0.18
	埴生小学校	体育館	S	1	791	S 52	0.24
	津布田小学校	管理教室棟	RC	3	1,781	S 50・51	0.47
体育館		S	1	675	S 54	0.17	
中学校	高千帆中学校	普通教室棟 (北側校舎の東側部分)	RC	2	894	S 52	0.70
	小野田中学校	普通教室棟 (真中の校舎)	RC	3	2,010	S 50	0.46
	厚狭中学校	特別教室棟 (真中の校舎)	RC	2	1,593	S 48	0.58
		体育館	S	1	903	S 49	0.14

※この公表は、地震防災対策特別措置法第 6 条の 2 第 2 項の規定に基づくものです。

### 語句説明

＜二次診断＞ 柱・壁・コンクリート強度・鉄筋量等から詳細に建物の強さと粘りを算定する方法による診断

#### ＜構造＞

RC：鉄筋コンクリート造

S：鉄骨造

＜Is 値＞ 建物の粘り強さに形状や経過年数等を考慮して算出される構造耐震指標

Is 値の目安	0.3 未満	地震の震動および衝撃に対して、倒壊または崩壊の危険性が高い
	0.3 以上 0.6 未満	地震の震動および衝撃に対して、倒壊または崩壊の危険性がある
	0.6 以上	地震の震動および衝撃に対して、倒壊または崩壊の危険性が低い

※学校施設の Is 値は、児童生徒の安全性等を考慮して、概ね 0.7 を超えている必要があります。